

## 在宅看護学演習

科目到達目標:在宅療養者の生活とその人に必要な医療とを統合する訪問看護実践に必要な知識・技術・姿勢の基礎を習得する。

科目責任者(所属):仁科 祐子・松浦 治代(地域・精神看護学) 連絡先:nishina@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/20(月)	2		・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	イントロダクション 訪問看護過程概論、事例紹介	仁科 祐子	地域・精神看護学	看護過程(推論-検証過程)の再確認、訪問看護過程の特徴を理解する	ICF、訪問看護計画、看護判断
2	4/27(月)	2		・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	摂食・嚥下障害がある人の生活と看護を考える	仁科 祐子	地域・精神看護学	摂食嚥下障害がある人の観察項目が言える。医療的ケア(経腸栄養法・静脈栄養法)の方法を理解する。参考事例の看護を考えられる。	水分出納、脱水、低栄養、口腔ケア、12対脳神経
3	5/11(月)	2		・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)					在宅経腸栄養法、胃ろう、在宅静脈栄養法、皮下埋め込み式カテーテル法
4	5/18(月)	2		・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	摂食・嚥下障害がある人のアセスメントとケアの実際	箱崎 五月	(非常勤講師)	摂食・嚥下障害がある人のケアの実際について説明できる。	栄養アセスメント、摂食嚥下の5期のアセスメント
5	5/25(月)	2		・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)	脊髄損傷で排泄障害がある人の生活と看護を考える	仁科 祐子	地域・精神看護学	排泄障害がある人の観察項目を言える。医療的ケア(膀胱留置カテーテル)や看護ケア(スキンケア・排便コントロール・褥瘡予防)の方法を理解する。参考事例の看護を考えられる。	排便、浣腸、腸蠕動音、尿失禁、過活動膀胱、神経因性膀胱
6	6/10(水)	4	ヒポクラテス	・対面授業 ・パターン2遠隔授業(ビデオ付きオンデマンド学習)					清潔間欠自己導尿(CIC)、膀胱留置カテーテル、ストーマ、(透析)
7	6/17(水)	4	ヒポクラテス	・対面授業	在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法を要する人の生活と看護を考える	雑賀 倫子	地域・精神看護学	医療的ケア(在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法)や看護ケア(排痰法、吸引)の方法を説明できる	気道クリアランス、酸素ヘモグロビン解離曲線
8	6/24(水)	4	ヒポクラテス	・対面授業					家族支援、緊急時対応
9	7/1(水)	4	ヒポクラテス	・対面授業	訪問看護過程(事例検討) 情報の整理→アセスメント→看護上の課題(ニーズ)→看護計画→実施(ロールプレイ)→再アセスメント・計画の修正(個人ワーク、グループワーク、ロールプレイ、全体討議を含む)	仁科 祐子 雑賀 倫子	地域・精神看護学	情報の整理→アセスメント→ニーズ→ケアプラン・看護計画を考え表現できる	ICF、看護上の課題(ニーズ)、ケアプラン、訪問看護計画
10	7/6(月)	2	ヒポクラテス	・対面授業					
11	7/8(水)	4	地域実習室	・対面授業					
12	7/15(水)	4	ヒポクラテス	・対面授業					
	授業開始(4/15)以前の授業			・資料・課題対応					
13	7/22(水)	4	ヒポクラテス	・対面授業	特別講義:訪問看護の実際を知ろう!	石橋 康子	(非常勤講師)	訪問看護の楽しさ、やりがい、難しさ等を知り、訪問看護実践のイメージをもつ。	やりがい、満足感、多職種協働、実践能力
14	7/29(水)	4	ヒポクラテス	・対面授業	特別講義:訪問看護実践に必要な能力について考えよう!	岡田 悦子	(非常勤講師)	訪問看護実践能力とはどのようなものか、自分の意見を述べる事ができる。実習に向けて自己の課題を明らかにする。	コミュニケーション、マネジメント、臨床判断

教育グランドデザインとの関連:1、4、5、6、7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

学位授与の方針との関連:3

授業のレベル:3

評価 定期試験50%……… 単位取得には定期試験で6割以上の得点が必要。

レポート50%………

①事例検討(ICFシート・ケアプラン・関連図・看護計画・レポート)

②非常勤講師の講義時のミニレポート ③その他非定期のミニレポート \*レポートの詳細は授業中に提示します

\*事前連絡のないレポートの提出遅れ、未提出は大幅な減点となります。 \*授業態度も加味します(特にグループワーク)。

実務経験との関連 ○認定看護師(摂食嚥下障害看護)として実務を行っている看護師が、摂食嚥下障害のある人のケアに必要な知識と技術について講義する。

○熟練訪問看護師が、訪問看護の実際の事例を用いながら、訪問看護の魅力について講義する。

○熟練訪問看護師であり現在がん終末期療養者等の在宅ケアに携わる看護師が、訪問看護事例を用い、アセスメントやケアの実際を講義する。

注)実習との兼ね合いで講義日程が変則的になっていますので注意してください。

教科書:ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版

参考書:山内豊明.フィジカルアセスメントガイドブック 第2版.医学書院 角田直枝.よくわかる在宅看護.学研

その他:本科目の目標達成には各回の講義前後にそれぞれ1時間程度の自己学習が必要です。教科書該当ページをよく読むこと、講義に出てきた疾患、症状、治療、看護ケアについて調べ、ノートにまとめるなどして理解を深めてください。